

平成29年度事業報告書

- 公 1 ビタミン・バイオフィクター及びこれらに関連する研究を行っている
 機関や学会に対して研究費等の助成を行う事業

- 公 2 ビタミン及びバイオフィクター等に関する知識を普及する事業

公益目的事業

公 1 ビタミン・バイオフィクター及びこれらに関連する研究を行っている機関や学会に対して 研究費等の助成を行う事業

助成事業

研究助成金の交付機関の活動報告

イ. ビタミンB研究委員会

研究協議会開催 4回 ・ シンポジウム

(第448回 6月8日・神奈川、第449回 9月1日～2日・島根、第450回記念協議会 10月28日・京都、
第451回平成30年3月10日・京都、シンポジウム平成30年3月9日・京都)

ロ. ビタミンC研究委員会

研究委員会開催 3回

(第153回 7月21日・東京、第154回11月10日・東京、第155回 平成30年3月2日・東京)

ハ. 脂溶性ビタミン総合研究委員会

研究委員会開催 4回

(第355回 6月8日・神奈川、第356回 9月8日・東京、第357回 12月15日・静岡、
第358回 平成30年3月9日・東京)

ニ. 日本ビタミン学会

○ 学会誌「ビタミン」年11回刊行等

○ 日本ビタミン学会第69回大会開催

会 場 : 神奈川・横浜市開港記念会館

開 催 日 : 平成29年6月9日(金)～10日(土)

名誉大会委員長: 永津 俊治

(名古屋大学名誉教授, 東京工業大学名誉教授, 藤田保健衛生大学名誉教授)

大会委員長 : 一瀬 宏(東京工業大学教授)

テ ー マ 「ビタミン・バイオフィクターによる健康寿命の延伸」

第1日目 (6月9日)

特別企画

(敬称略)

「ビタミン・バイオフィクター科学の後人へのメッセージ」

永津 俊治

シンポジウム

「アミノ酸代謝を調節する補因子研究の最前線」

オーガナイザー: 柴田 克己・一瀬 宏

1. アミノ酸代謝におけるビオプテリンの生理的重要性について 一瀬 宏
2. 質量分析による網羅的な代謝経路/補酵素の動態解析 杉浦 悠毅
3. BCAA代謝を調節するビタミンB₁とB₆ 下村 吉治
4. トリプトファン代謝を支配するB群ビタミンの栄養状態 柴田 克己

基調講演

「Dietary Supplements and Health Promotion: Assessing the Evidence」

Paul M. Coates

第2日目（6月10日）

シンポジウム

（敬称略）

「ビタミン・バイオフィクターでアンチエイジング」

オーガナイザー：丸山 和佳子, 石神 昭人

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 神経老化に対する栄養学的介入の現状と未来 | 丸山和佳子 |
| 2. 抗酸化ビタミン C, E によるアンチエイジング | 石神 昭人 |
| 3. ビタミン K とロコモティブ症候群 | 井上 聡 |
| 4. フレイルに対するビタミン・バイオフィクターの効果 | 荒井 秀典 |

特別講演

「超高齢化社会における次世代ヘルスケア産業育成の目的と意義」

江崎 禎英

教育講演

「健康寿命の延伸におけるビタミンの役割とその社会的意義」

田中 清

特別企画

「Patterns of Dietary Supplement Use in the United State」

Paul M. Coates

日本ビタミン学会日本病態栄養学会合同シンポジウム

「臨床におけるビタミン・バイオフィクターの最近の話題」

オーガナイザー：竹谷 豊, 津川 尚子

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. CKD 患者の栄養管理におけるビタミン・バイオフィクター | 加藤 明彦 |
| 2. 臨床栄養管理・栄養指導時における各種ビタミンの意義 | 幣 憲一郎 |
| 3. 糖尿病とビタミン | 仲谷 慎也
稲葉 雅章 |
| 4. 薬剤とビタミンKおよびビタミンEの相互作用 | 高田 龍平 |

第1日目（6月9日）・第2日目（6月10日）

一般演題 114題

へ. 神戸大学医学部附属病院薬剤部

平成30年度の募集要項は、平成29年12月、ホームページを通じて公開した。

応募期間 : 平成30年1月10日 ~ 2月10日

書類選考 : 審査委員会にて行った。

選考結果 : 理事会にて決定し、応募者に通知した。

公 2 ビタミン及びバイオフィクター等に関する知識を普及する事業

広報・活動事業

イ. ビタミン・バイオフィクター関係新情報の提供

日本ビタミン学会大会要旨並びに Journal of Nutritional Science and Vitaminology を買上げ、企業会員並びに希望者に配布した。

また当協会の広告をビタミン誌に掲載し、ホームページを充実させ、一般会員募集のための広報活動を行った。

その他新情報の提供として、当協会のホームページを通じて 諸講演会、市民公開講座やシンポジウム等の内容を掲載し参加を促した。更に、助成機関の委員会や協議会、シンポジウムなどの活動についての情報を一般に公開し、広くビタミン・バイオフィクターに関する情報提供や知識啓蒙等を図った。

ロ. 市民公開講座開催

平成29年度 日本ビタミン学会 市民公開講座 開催(共催)

会 場 : いたみホール(伊丹市文化会館)

開 催 日 : 平成29年11月11日(土)

開催委員長 : 津川尚子(大阪松陰女子大学健康栄養学部教授)

テ ー マ : 「知っていますか? ビタミンのこと ~骨を守るためのビタミン~」

参加者数 : 約100名

(敬称略)

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 健康とビタミンについて | 岡野登志夫 |
| 2. 骨の健康とビタミン・ミネラルとのかかわり | 田中 清 |
| 3. 骨の健康を守るための食事とは | 栗原 晶子 |

〈骨の健康に関する簡易な栄養評価、骨折リスク評価〉
希望者方へ FRAX 骨折リスク評価ツールによる診断

ハ. 事業委託

研究者間の交流及び最新の研究内容などの公開を図るため、ビタミンB研究委員会に下記のような研究協議会とシンポジウムの開催を委託した。また、その内容に関してホームページなどを通じて一般に周知した。

研究協議会 (敬称略)

第448回	6月8日	神奈川・横浜市開港記念会館	世話人 一瀬 宏
第449回	9月1日~2日	島根・ツインリーブスホテル出雲	世話人 土屋美加子
第450回記念	10月28日	京都・京都大学楽友会館	世話人 小川 順
第451回	3月10日	京都・京都大学楽友会館	世話人 北吉 正人 (武田コンシューマーヘルスケア株式会社) 世話人 佐藤 賢治 (第一三共株式会社)

シンポジウム

会 場 : 京都・京都大学楽友会館
開 催 日 : 平成30年3月9日(金)
企画・運営 : 一瀬 宏(東京工業大学教授)
 : 藤井 健志(株式会社カネカ)
世 話 人 : 津下 英明(京都産業大学教授)
テ ー マ : 「アンチエイジングのためのビタミン・バイオフィクター」
参加者数 : 約80名

(敬称略)

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. はじめに:アンチエイジングと抗酸化・ミトコンドリア | 一瀬 宏 |
| 2. フレイル、サルコペニアとビタミン、バイオフィクター | 荒井 秀典 |
| 3. 高齢者の健康維持におけるビタミンの役割 | 田中 清 |
| 4. 分子状水素の治療効果・予防効果:基礎医学から臨床応用まで | 太田 成男 |
| 5. アンチエイジングの側面からみたカルニチンについて | 王堂 哲 |
| 6. アンチエイジングと還元型CoQ10 | 藤井 健志 |

二. 講演事業開催

2017年度(平成29年度)市民公開講演会開催(共催)

会 場 : 関西大学100周年記念会館
開 催 日 : 平成29年10月20日(金)
世 話 人 : 吉田 宗弘(関西大学副学長・教授)
テ ー マ : 「機能性食品の素材としてのビタミン・バイオフィクターの新たな展開」
参加者数 : 約65名

(敬称略)

- | | |
|---|-------|
| 1. 機能性表示食品における栄養成分とエキスの扱い | 吉田 宗弘 |
| 2. 食品中のバイオフィクターとしてのD-アミノ酸:
科学的特性とD-アミノ酸強化黒酢の開発 | 老川 典夫 |
| 3. グリコの機能性素材と、その保健機能食品への応用 | 高田 洋樹 |

ホ. 情報広報

マスコミからのビタミン・バイオフィクターに関する企画、問い合わせなどに正確に対応した。
また、一般からのビタミン、バイオフィクター、サプリメントなどに関する質問に対しても迅速に回答した。

平成 30 年 3 月 31 日
公益社団法人
ビタミン・バイオフィクター協会

平成 29 年度事業報告 附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。